

会報

# 茨城

IBARAKI

<http://www.i-jk.org>

69

2019 JAN

The Bulletin of Ibaraki  
Association of  
Architectural Firms



建築視察研修

## 水の都「松江」・神話の地「出雲」

～伝統的建築物から近・現代建築を巡る旅～



新年  
あけまして  
おめでとう  
ございます。



一般社団法人  
茨城県建築士事務所協会  
会長 舟幡 健

昨年の5月に会長に就任し初めて新しい年を迎えることとなりますが、正会員、賛助会員の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

本会は設立以来、安心・安全の確保と良質で持続可能な生活環境の形成という社会的使命を果たす建築士事務所の組織として、皆様のお力添えを頂きながら様々な活動を行って参りました。改めて、皆様のご理解とご協力に對し心より感謝申し上げます。

さて昨年を振り返りますと、6月に大阪府北部地震、7月に西日本豪雨、9月に北海道胆振東部地震、更には大型台風が多発するなど大災害が続いた一年でありました。改めて、災害により亡くなられた方々に哀悼の意を表すると共に、被害に遭われた方々にお見舞いを申し上げます。

このような自然災害に対し、国土強靱化基本計画のもと各分野で強靱化のプログラムが推進されておりますが、我々建築に携わる者といったしましては、建築物の耐震化、防火対策等に積極的に取り組んでいくことが社会的責任となっております。

今般、大阪府北

部地震でのブロック塀の倒壊によって尊い命が犠牲になったことを踏まえ避難路沿いのブロック塀にも耐震診断義務化が拡大されますが、私ども協会といたしましても建築士のスキルアップに努め建築物の安全・安心について、より一層の取り組みをしていく所存でございます。

一方、私ども建築士事務所が安定的・持続的に業務を行っていくうえで、雇用・業務環境・業務報酬等について多くの課題が山積しております。そのうち、業務報酬につきましては、告示第15号の改定作業が行われており、3月頃にはガイドラインが示される予定となっておりますが、建築士事務所の経営の根幹に係るものでございますので引き続き周知と徹底を図って参りたいと考えております。

また、本会におきましては喫緊の課題として会員増強に取り組んで参りましたが、残念ながら会員減少は続いており、現在、正会員数は490を割り込んでおります。会員数の確保は、協会の事業を円滑に進めていくうえで重要なものでございますので、皆様のご協力のものと積極的に取り組んで参ります。

今年の干支は亥であります。多産なイノシシにあやかりまして会員が増加するとともに、本年が皆様にとりましてより良い年でありますよう心からご祈念申し上げ年頭のご挨拶いたします。



表紙の写真／出雲大社 神楽殿  
撮影／山田 一博

平成31年 年頭のご挨拶	01
-----------------	----

報告 ●平成30年度 年末懇親会	02
---------------------	----

報告 ●第35回 会員親睦ゴルフ大会	04
--------------------	----

報告 ●建築士事務所キャンペーン	06
------------------	----

報告 ●第42回	08
----------	----

## 建築士事務所全国大会 (東京開催)に参加して

報告 ●田中副会長 黄綬褒章受章記念祝賀会	10
--------------------------	----

特集 ●平成30年度 建築視察研修	11
-------------------	----

## 水の都「松江」・神話の地「出雲」 ～伝統的建築物から近・現代建築を巡る旅～

研修を終えて	15
--------	----

告知 ●茨城学生建築展	21
-------------	----

告知 ●茨城建築文化賞募集	22
---------------	----

新会員紹介・編集後記	24
------------	----

# contents

The Bulletin of Ibaraki Association of Architectural Firms

## IBARAKI

69  
2019 JAN

会報

茨城

題字／大井川 和彦(茨城県知事)

一般社団法人 茨城県建築士事務所協会  
2019年1月 第69号

<http://www.i-jk.org>



●年末懇親会  
日 時／平成30年12月7日(金)  
会 場／三の丸ホテル  
報 告／会員委員会 李 相鉄  
撮 影／広報委員会 山田 一博

# 報告 2018 年末懇親会

2018年の年末懇親会が12月7日三の丸ホテルにて開催されました。今年も230を超える多くの方々にご参加いただき、とても賑やかな懇親会となりました。

新たに就任された舟幡会長からご挨拶を頂き、大井川茨城県知事や高橋水戸市長がご多忙にもかかわらず駆け付けて下さり、地方行政の近況やこれからの展望などをお話しいただきました。

会場内では、お世話になっている方へのご挨拶や名刺交換があらこちらから取り交わされ、笑い声の絶えない和やかな雰囲気になりました。美味しい食事に舌鼓を打ちながら楽しい時間を過ごすことができました。



日事連功労者表彰受賞の渡辺常務へ記念品を贈呈



茨城県表彰受賞の小川様より記念品へのお礼のお言葉



「茨城新聞文化福祉事業団」様へ舟幡会長からチャリティー金の寄附

ラッキーカードイベントでは、多くの賛助会員・正会員からご提供いただいた景品が並び、司会の軽部理事がユニモアあふれるトークに織り交ぜながら軽快にナンバーを読み上げるたびに、会場内のあちこちで歓声が上がリ、大変盛り上がりしました。

この行事は親睦ゴルフ大会、賛助会総会と同じく、正会員と賛助会員とが交流のできる大切な行事です。とても楽しいイベントの一つですので、参加されたことがない方は、ぜひ一度ご参加いただけたらと思います。

毎回ご参加いただいている皆様も、引き続き楽しいイベントにしてまいりますので、次回もぜひ宜しくお願いいたします。



会場内では、お世話になっている方へのご挨拶や名刺交換があらこちらで取り交わされ、笑い声の絶えない和やかな雰囲気に包まれ、楽しい時間を過ごした



## MATSUMOTO-SOUKEN

株式会社 松本総建

— 特定建設業 —

代表取締役会長 松本 一幸

茨城県知事許可(特-29)第21680号

関東中央支店 〒311-0106 茨城県那珂市杉410-2  
TEL 029-295-7715(代)  
FAX 029-295-6548

本 社 〒311-4152 茨城県水戸市河和田2-9-5  
営 業 所 〒319-1301 茨城県日立市十王町伊師3891-6  
第一機材センター 〒311-4203 茨城県水戸市上国井町字南台3669-1  
第二機材センター 〒311-0133 茨城県那珂市鴻巣白旗1195-1  
第三機材センター 〒311-0106 茨城県那珂市杉407-1

《 営 業 内 容 》 ■ 枠組足場工事 ■ くさび式先行手摺足場 ■ 鉄骨建方工事  
■ 建築土工事 ■ 土木工事 ■ 足場提案企画 ■ 外構工事



舟幡 健 会長



茨城県議会議員  
西野 一氏



水戸市長  
高橋 靖氏



茨城県知事  
大井川 和彦氏





プレー終了後は軽部理事の軽快な司会によりパーティーが行われた



「公益財団法人茨城県アイバンク」様へチャリティー金の寄附



ベスグロに輝いた根本 成人さん

## クラブハウスにて 結果発表と表彰式が 和やかな雰囲気の中 行われました

9月20日(木)第35回会員親睦ゴルフ大会が富士カントリー笠間倶楽部で開催されました。天候にも恵まれ100余名の参加者で楽しくプレーが出来ました。正会員と賛助会員の交流の機会としても非常に意義ある大会であり、毎年会員の皆様より好評を受けております。

プレー終了後はクラブハウスにて軽部理事の軽快な司会によりパーティーが行われました。主催者代表の挨拶に続き、参加者の善意で集まったチャリティー金を今回は「公益財団法人茨城県アイバンク」様へ寄付させていただきました。続いて結果発表と表彰式が行われ、和やかな雰囲気の中最良の交流及び親睦が図られたのではないでしょう。

今年も皆様の御協力のおかげで、無事親睦ゴルフが開催できましたことを、心より御礼申し上げます。



●第35回会員親睦ゴルフ大会  
日時／平成30年9月20日(木)  
会場／富士カントリー笠間倶楽部  
報告／会員委員会 渡辺昌弘

見事優勝に  
輝いた  
藤田 富夫さん

第35回

# 会員親睦 ゴルフ大会

第35回会員親睦ゴルフ大会が、  
100余名の参加のもと  
富士カントリー笠間倶楽部で開催されました。

成績表(敬称略)

優勝	藤田 富夫	ネット 70.4
準優勝	鈴木 水行	ネット 71.0
3位	大藺 泉	ネット 71.0
ベスグロ	根本 成人	グロス 81.0



壮大なフィールドに広がるダイナミックな 27 ホールは  
ゴルファー本来のチャレンジ精神をかきたてる

## 富士カントリー笠間倶楽部

〒309-1602 茨城県笠間市池野辺 2523 番地  
TEL 0296-72-8111  
FAX 0296-72-8534  
URL <http://www.kasama-club.com>

※オンライン予約も承っております



皆様に、建設業の魅力を少しでも  
アピールすることが出来たのではないかと思います



体験型アトラクションの「ストローハウス」は楽しみながらも建築の一部に触れて頂く良い企画となった



高校生による大作も生まれた「こども空間ワークショップ」



建築文化賞受賞作品等のパネル展示



今年はブルーベリーの苗木を配布



●建築士事務所キャンペーン(in建設フェスタ)  
日時／平成30年10月27日(土)  
会場／笠松運動公園広場  
報告／広報委員会 草刈 秀明

報告

# 建築士事務所 キャンペーン in 建設 フェスタ

国内でも最大級の建設イベントとなる「建設フェスタ2018」が開催され、当協会も「建築士事務所キャンペーン」を行って参りました。当日のキャンペーンの様子を紹介します。

国内でも最大級の建設イベントとなる「建設フェスタ2018」が10月27日(土)に、ひたちなか市の笠松運動公園にて開催され、昨年同様に当協会も「建築士事務所キャンペーン」を行って参りました。

当日は朝から雨模様の天候でしたが、開始の9時頃には雨も上がり、親子連れを中心に約2万人(主催者発表)もの来場者があつたとの事で、例年以上の賑わいを見せておりました。

当協会も昨年同様に「苗木(今年はブルーベリー)の配布」「筋違模型の紙ぶる」「ストローハウス」「子供空間ワークショップ」「建築文化賞受賞作品等のパネル展示」を行いました。

パネル展示を大人の方が物静かに眺めている一方で、一番盛況だったのが体験型アトラクションの「ストローハウス」

でした。親子参加者がストローとクリップを組み合わせて思い思いの形を作り出し、楽しみながらも建築の一部に触れて頂く良い企画となりました。午後1時には材料が無くなってしまう程、多数の方に参加して頂きました。その後は、木材とゴムで作る「こども空間ワークショップ」に人気が移り、高校生による大作も生まれました。閉会直前まで当協会ブースには参加者が訪れ、建築士事務所協会をアピールすることが出来たのではないかと思います。

当日は舟橋会長をはじめ総務委員会・会員委員会・事務局の皆様の協力のもとに行われた事業が地域の皆様、子供たちに建設業の魅力を少しでも発信し、伝える事が出来たのであれば幸いです。



地質調査全般・各種土質試験・さく井工事・土壌汚染調査

常磐地下工業株式会社

代表取締役 伊藤美智子

本社 〒317-0056  
茨城県日立市白銀町2丁目24番11号  
TEL 0294-22-8196 FAX 0294-22-9852  
ひたちなか(営) 〒312-0062  
茨城県ひたちなか市高場2丁目13-4  
TEL 029-212-7660 FAX 029-212-7661  
http://www.iyouban.co.jp/



第42回

# 建築士事務所全国大会 (東京開催)に参加して

## 大会テーマ「未来に繋ぐ」

平成30年10月5日、第42回建築士事務所全国大会(東京開催)が帝国ホテルにて、「未来に繋ぐ」をテーマに開催され、当茨城会からは総勢14名が参加しました。

まず、建築家・青木茂氏の講演「建築が変わる／仕事が変わる」があり、家人龍太氏をコーディネーターにパネリストの方々によるパネルディスカッションが行われました。

続いて大会式典に移り、今年度の日事連建築賞表彰式が行われ、当会からは(株)河野正博建築設計事務所が設計した「土浦協同病院附属看護専門学校」が奨励賞を受賞しました。次に功労者表彰に入り、当会からは常務理事の渡辺章夫氏が表彰を受けました。

式典後、帝国ホテル孔雀の間にて記念パーティーが開かれ、他単位の会

方々との交流、更には来年第43回大会の開催県である福島会の皆様が登壇して参加を呼び掛けるなど、盛況のうちに幕を閉じました。

なお、大会開催に先立ち、TKP新橋カンファレンスセンターにおいて、次世代設計者が集まり交流を行うことにより新しい価値観を創ることを目的に「青年話創会」が開催され、活発な意見交換が行われました。



MOVE-A・S  
 ARCHITECT STRUCTURE OFFICE

有限会社 ムーブ建築設計事務所

代表取締役 渡辺章夫

〒310-0836 水戸市元吉田町122-1メルベージュ水戸ビル2F  
 T029-304-1818 F029-304-1822 E-mail : moveas@amber.plala.or.jp



「青年話創会」が開催され、活発な意見交換が行われた



次回の開催県である福島会の皆様が登壇して参加を呼び掛けた



建築家・青木 茂氏の講演



●田中副会長 黄綬褒章受章記念祝賀会  
 日時／平成30年12月13日(木)  
 会場／中川楼  
 報告／事務局長 打越 信久



# 当協会副会長、田中健一氏が 黄綬褒章を受章

## 記念祝賀会が盛大に開催されました

平成30年秋の褒章において、当協会の田中副会長が栄えある黄綬褒章を受章され、11月14日に伝達式が行われました。

黄綬褒章は、その道一筋に業務に精励し、人々の模範となる方に対して授与されるもので、田中副会長は当協会設立時から協会発展のためにご尽力されるとともに、茨城の建築設計業界の発展に多大な功績を残されており、受章の栄に浴しました。

この受章を記念して、当協会の舟幡会長と建築士会の柴会長が発起人となり、12月13日(木)水戸市泉町の中川楼に約60名の有志が集い、祝賀会が盛大に開催されました。

当日は、青山副会長の開会の言葉で幕を開け、発起人を代表して舟幡会長から祝辞が述べられました。

次に、舟幡、柴両会長から記念品が贈呈され、さらに、女性陣を代表して若柳さん、中崎さんから花束が手渡されました。

続いて、田中副会長より「皆様のご指導により、この様な榮譽に浴することができました。また、全国有数の協会に築き上げた諸先輩に感謝申し上げます、今後も業界発展のために頑張っていきたい。」とお礼の言葉があり、会場は拍手に包まれました。

その後、横須賀名誉会長の乾杯の



ご発声で祝宴に移り、会場のあちらこちらで歓喜の輪が広がり、和やかな雰囲気の中で宴が進められました。そして、山田相談役の中締めで華やかな宴はお開きとなりました。

この榮譽は当協会の誇りでもありますが、改めて会員の皆様と喜びを分かち合いたいと思います。

田中副会長には、これからも健康に留意され、益々活躍されますことをお祈りいたします。

誠にありがとうございました。

●松江・出雲 視察研修  
 日時／平成30年11月9日(金)～11日(日)  
 参加／31名  
 撮影・報告／広報委員会 山田 一博  
 (株)桜設計事務所  
 荒井 瑞樹



建築視察研修

# 水の都「松江」・神話の地「出雲」

## 伝統的建築物から近・現代建築を巡る旅

今回の建築視察研修は研修委員会委員長をリーダーとする31名で、松江と出雲をめぐり2泊3日(平成30年11月9日(金)～11日(日))のスケジュールで探訪して参りました。





## 1日目

茨城空港に7時半集合。小雨の降る中、8時35分発SKY183便に搭乗し神戸空港に1時間ほどで到着しました。今回視察する松江市まではバスで向かいます。車窓から見える紅葉を堪能しつつ、バスに揺られること30分。六甲北有料道路を走行中、渋滞につかまります。2キロ先でタンクローリーが横転し、道路2車線を塞いでしまったとのことでした。開通の見込みがなく、11時頃車内にて早めの昼食をとることになりました。交通整備のためバス近くに

停められた白バイ前で記念撮影をする方もおられ、高速道路に降り立つという貴重な体験をし、予期せぬ事態に困惑しつつも車内は和やかな雰囲気だつたように感じます。

事故の影響で初日2番目に予定されていた「松江市総合体育館」の視察は中止となりました。道路の開通まで時間が掛かるということで、料金所までバスを1キロバックさせ一旦高速道路を下車、2時間遅れで初めの目的地「**島根県立美術館**」へと向かいました。菊竹清訓氏により設計され、「水と調和する美術館」を



①島根県立美術館(宍道湖側外観) ②美術館担当者より建築概要のレクチャーを受ける  
③2階常設展ロビー ④島根県立美術館(東側メインエントランス外観) ⑤宍道湖が見渡せるエントランスロビー ⑥2階アートライブラリーを見る

## 2日目

テーマとしています。ガラス張りのロビーから望む宍道湖は、大変素晴らしい眺めでした。伸びやかな波状のカーブを描く高い天井はエントランスロビーから展示室のある2階へと続きます。湖岸から見る外観は、屋根の柔らかな曲線が非常に美しく、高さが低く抑えられており、松江市の雄大な自然との融和が巧みに図られていました。一部リニューアルもされていますが、竣工から20年経過しているとは思えない、また訪れたと思う美術館でした。

1日目に宿泊する玉造温泉へは午後6時、予定より1時間遅れての到着となりました。午後7時から行われた宴会では松葉ガニや鯛に舌づみを打ち、山陰の幸を堪能しました。

旅館の方に見送られ、1時間ほどバスで走り「**島根県立古代出雲歴史博物館**」へ向かいます。設計は横文彦氏。出雲大社のすぐ東隣にあり、山並み状の折屋根が、周辺の緩やかに重なり合う背景の山々に溶け込み、景観の調和を保っています。エントランスホールへは桂の木の並木道を通ってアプローチします。その長さは全長110メートル。千

と同じ長さです。館内は3つの展示室からなり、本殿、また本殿に続く階(きざし)の1/10スケールの模型なども観覧することができます。荒神谷から出土されたという銅剣358本の展示はまさに圧巻です。後にこの施設について調べたところ、博物館の内部、外部共に出雲の歴史と結びつく見事な建築的手法工夫が数多く凝らされていることがうかがえました。時間の都合上、駆け足の視察となつてしまいました。十分な見学ができなかったのが大変悔やまれます。

次に「**大社文化プレイス うらら館**」へ。伊藤豊雄氏により設計された「うらら館」と呼ばれるホールと「でんでんむし」と呼ばれる図書館からなる文化施設です。内部に足を踏み入れると、一面ガラス張りの建物東側から惜しげもなく外光が取り込まれていました。でんでんむし(図書館)の天井はやわらかなカーブを描いており、内部には多角形の中庭があります。メインエントランスの反対、西側の境界側は住宅と接しているのですが、外周道路と芝生で距離が保たれています。同時に、緩やかな曲線の外壁ラインと仕上げの変化によつて建物の極端な裏側がない印象を受けました。

少しだけ道を戻り、「**出雲大社**」へ到着。神無月といえは10月ですが、旧暦

に当てはめると今年は11月18日から12月6日ということで、今回は出雲でいう「神在月」期間内の参拝となりました。間近で見える大注連縄(おおしめなわ)の大きさに一驚し、神楽殿を背景に集合写真を撮りました。

たっぷり設けられた自由時間の中、各自思い思いに社周辺をめぐるります。幸いにも全国の神々が集結しているといわれるこの時期、今回参加されなかった方々の分も出雲のパワーを賜わり、茨城へ持ち帰ることができているはずです。

昼食は「**島根ワイナリー**」へ。出雲大社からはバスで5分ほど走り到着しました。しめね和牛を堪能した後、出雲ドームを遠目に次は「**国宝 松江城**」を目指します。午後2時40分に到着。松江城は2015年に国宝に指定され話題にもなりました。バスを降りると、初代松江藩主堀尾喜吉晴公の堂々たる銅像に迎えられました。足を先へ進めると大きな石で積み上げられた高石垣に目を引き付けられます。石垣工事には5年の築城期間のうち3年間を費やしたそうです。階段を上へと進み、松江城前で本日2度目の記念撮影。天守内1階から上へと続く階段は防火防雨のために桐で作られており、他のお城ではあまり見られない珍しい手法だそうです。つるつるして滑りやす

いため、皆さん慎重に降りているようでした。最上階からは松江市街や宍道湖が360度ぐらりと見渡すことができます。1日目に視察した島根県立美術館の有機的なフォルムの屋根も見えました。

各自見学を終え、隣接されている「**松江歴史館**」へ。武家屋敷をイメージ

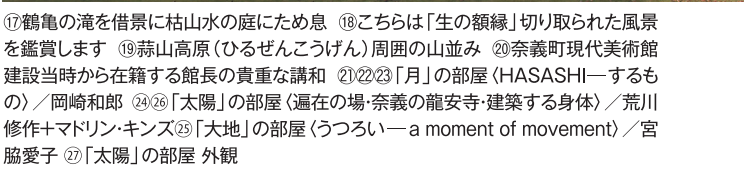
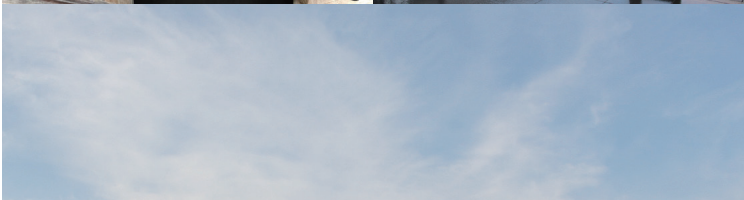
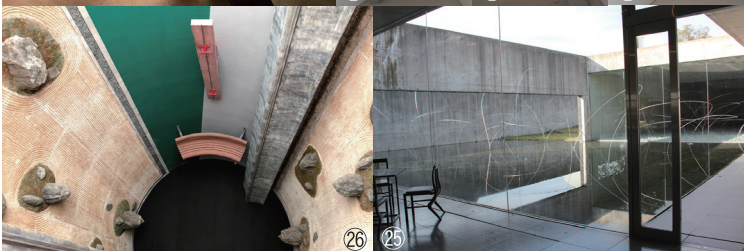
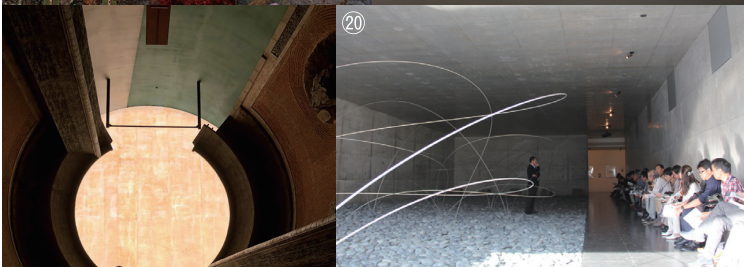
した和風の外観で、外壁は、松江城の堀や櫓(やぐら)にも見られる「漆喰塗り」と「下見板張り」が使われています。屋根には約6万枚のいふし瓦が載っています。屋外には日本庭園が設けられていました。実際に設計を担当された環境計画建築研究所代表の矢田氏のお話も拝聴し、設計にあたっての苦労話や、新築を伝統的な街並みに溶け込

せる手法など、大変参考になりました。そして、次に徒歩5分の「**小泉八雲記念館**」へ向かいます。ここは八雲が妻の小泉セツと新婚生活を過ごした小泉八雲旧居の左隣に建てられた施設です。松江市出身の佐野史郎氏が朗読する「怪談/KWAIDAN」と併せて八雲についての講義をいただき、本日の視察は終了しました。



⑦島根県立古代出雲歴史博物館(本館を西側から見る) ⑧大社文化プレイス うらら館(共通ロビーを見る) ⑨同上(東側から見る) ⑩出雲大社(神楽殿の大注連縄が見える) ⑪パワースポットとの噂の素戔嗚尊(そがのやしろ) ⑫松江城の前で1枚 ⑬松江歴史館で矢田氏の講義に興味津々の様子 ⑭小泉八雲記念館(南側外観) ⑮松江城周囲の堀 ⑯小泉八雲記念館にて講義に耳を傾ける





①鶴亀の滝を借景に枯山水の庭にため息 ②こちらは「生の額縁」切り取られた風景を鑑賞します ③萩山高原（ひるぜんこうげん）周囲の山並み ④奈義町現代美術館建設当時から在籍する館長の貴重な講和 ⑤21②23「月」の部屋（HASASHI—するもの）／岡崎和郎 ⑥「太陽」の部屋（遍在の場 奈義の龍安寺・建築する身体）／荒川修作+マドリン・キンス⑦「大地」の部屋（うつろい—a moment of movement）／宮脇愛子 ⑧「太陽」の部屋 外観

### 3日目

研修3日目最終日となりました。松江市内のホテルを8時半に出発。「足立美術館」へと向かいます。館内から望む庭園は目に入った瞬間、わっ！と声が漏れてしまいうほど美しく、背後に見える山の紅葉とのコントラストに、心奪われてしまいました。今回は秋の鑑賞でしたが、真つ白な雪景色、また春の新緑が青々とした季節にも、ぜひ鑑賞に訪れたいと思いました。「生の掛け軸」耳にしたことはあれど形状は知らず、どのようなものか楽しみに現物を

見ると、壁に穴が開いているというなんともシンプルな仕掛け。芸術とはとても私の手では届かないほどに奥深い、その思い知らされたような気がします。館内を奥へ進むと、横山大観をはじめとする150点あまりの日本画が待ち構えます。近代・現代の順に、時代に沿った日本画独特の「絵肌」を堪能させていただきました。

萩山高原（ひるぜんこうげん）にて昼食をはさみ、今旅行最後の視察となる「奈義町現代美術館」へと移動します。磯崎新氏の設計で平成6年（1994年）に開館しました。人口が6000人に満たない町の町立美術館であり、

当時理解するのも難しいであろう現代美術を扱います。美術と建築が一体になっている先駆けの美術館であったことに他なりません。2階に町立の図書館と別棟で南側に設けられたレストラン棟を備えた複合的な施設となっています。館内は太陽・月・大地と名付けられた3つの展示室から構成され、これまで視察してきた美術館とは異なり、展示物が並ぶのではなく、空間そのものが作品となっていました。建築とアートが融合した空間の魅力を、身体をもつて感じさせられる、驚きにあふれた美術館でした。

全日程を終え、午後6時神戸空港に到着。搭乗までは各自お土産を買ったり、食事をつたり、名残惜しい気持ちを残しつつ、SKY:186便にて帰路につきます。茨城空港へは8時30分に到着し、解散となりました。

この3日間、幸い天候にも恵まれ、大変充実した内容の視察旅行となりました。また、本文を書かせていただいたことで、今回視察した建築を振り返り、担当建築士の建物や地域に込めた深い思いに触れることができました。ありがとうございました。

（株）桜設計事務所／荒井瑞樹

## 「水の都松江・神話の地出雲」 研修を終えて



■初日、9日の朝、茨城は生憎の雨模様の朝、空路にて神戸へと向かう。神戸から島根へと向かう空は雨も無く幸いでしたが、途中ハブニング発生、高速道路上でタンクローリーの横転事故があり、2時間越えの通行止めとなり、車バズをバックさせての脱出と、稀有な体験だった。予定変更を余儀なくされ、島根県立美術館のみの見学となったが、夕暮れ時の、灯りの光景、ガラスで湾曲を構成されたシルエツトが、宍道湖の穏やかな風景に溶け込んで、感動のワンシーンとなった。玉造温泉での身体への解放と共に楽しい夜を過ごし、2日目の出雲、松江へと向かう。出雲大社での荘厳なパワーを受け、松江の街並み文化・歴史を物語る、建築物の見学と、古いにしこを味わう事となり、特に松江の町は江戸時代からの水路の配置が、今も変わらず残っており、その佇まいが、よりいっそう街の景観に落ち着きと懐かしさを与えているようだった。夜の食事会となり、小葉さんセッティングのお店で、大変美味しく、楽しいひと時を過ごす事となった。小葉さんには改めて御礼を申し上げます。最終日、まずは足立美術館、広大な庭園は借景の迫力も手伝って、改めて日本の美の素晴らしさを感じ、横山大観のダイナミックな絵画が、更にエネルギーを増幅させた様に感じた。また、茶室『寿立庵』にて、和敬静寂の中での一服のお抹茶、身体がスーッと流れるようだった。最後の見学地となる、奈義町現代美術館では、不思議空間の中で、なぜか宇宙を感じる様な、ダイナミックアートを体感した。帰路は順調に、神戸から次城へと飛び、大変充実した3日間となった。行程を企画・検討してくれた研修委員会の皆様に御礼を申し上げます。

アーキテクチュアサービスナカザキ 中崎妙子

■ハブニングから始まった研修ではありませんが、なんとか夕焼けに間に合った宍道湖に佇む島根県立美術館、ゆるやかな屋根のフォルムがすばらしく月影に透けこんでいました。松江市内は、江戸から明治への政変と太平洋戦争の戦火を受ける事なく町の姿を現在に残しており、水の都の月影が美しく感じられました。特に松江城近くの住宅等は、きれいに保存していることに驚きました。

（株）相澤建築設計事務所 相澤晴夫

■神戸空港からバスに乗り、松江に向かう高速道路での事故渋滞がスタートでした。何度目かの松江でしたが、一般の観光旅行とは違い、充実した旅になりました。足立美術館での、横山大観の収蔵の多さには驚かされながら、茨城県民として一抹の淋しさを感じました。

（株）青山建築設計事務所 青山立美

■茨城空港発、神戸空港着。バスにて島根県への予定が高速道路でトラブル発生!!担当委員会として毎回参加していますが初の出来事でした。何とか乗り切り1日目のメインである島根県立美術館を（松江市）視察する。宍道湖畔に建つ、水との調和をテーマにした美術館です。宍道湖畔の景観に溶け込むような、シンボリックな穏やかなラインの金属屋根、また宍道湖に面した壁面は夕日が一望できる一面のガラス張り。絶好のロケーションをもつ、エレガントな美術館でした。2日目は最初に建築家横文彦氏設計による島根県立古代出雲歴史博物館を視察する。出雲大社の東に位置する建物で鉄とガラスで構成されている博物館で、出雲大社の一大行事である2008年の60年ぶりの平成の大遷宮の事業の一環で企画され建設されたものである。その後歴史的建造物出雲大社参拝でパワーアップ。小泉八雲記念館視察では怪談断と曾孫である館長の小泉凡氏との記念写真で満足でした。3日目は松江市からバスで安来市にある足立美術館・日本一の庭園視察。その後建築家磯崎新氏設計による岡山県の奈

義町現代美術館を視察。この建物は磯崎新氏設計と3作家による作品とが融合した美術館。建築とアートが一体となっている。もう少し視察の件数と時間のバランスをとれば良かったかなと。今後の視察研修の課題にしていきたいと思います。参加者の皆様お疲れ様でした。

一級建築士事務所イディ 石黒幸喜

■今年度も、松江・出雲建築視察研修に参加し自己研鑽を積む事が出来ました。1日目、一生に一度会うかのアシデントを乗り越え、夕陽が僅かに感じられる宍道湖畔に建つ島根県立美術館を視察。宍道湖との美しい調和に魅せられました。閉館時間が日没に合わせてフレキシブルに設定される運営方式に感動。お宿の佳翠苑で、温泉に入り足湯に浸かつての二次会に旅の疲れも吹き飛びました。2日目、神話の地出雲の歴史的遺産である出雲大社とその建造の歴史を視察。太古からの建造技術の人の智と、神への崇拜のパワーに驚くばかりでした。11月8日から日本全国の神が出雲に集う神在月になる為、有難い事に祈願の効果倍増だそうですね。個人的な視察のメインは、小泉八雲記念館でした。八雲の昔からのファンとして、八雲の人生を知る事が出来、曾孫で記念館館長の小泉凡氏と写真が撮れた事にとても満足しています。3日目、足立美術館は紅葉シーズン真つ只中で見事なまでの秋萌え景色でした。まさに、ザ庭園。限定期間で展示される横山大観作品の屏風絵、紅葉が見られたのも幸運でした。委員長を始め、担当委員会の皆様、苦勞様でした。

一級建築士事務所イディ 石黒洋子

■21世紀の文化拠点として1999年に開館した山陰最大規模の美術館。「水と調和する美術館」を館テーマとして、水が描かれた作品を多数収蔵展示する。また宍道湖の夕日鑑賞には絶好の東南岸に位置することから、屋上展望テラスの設置や建物の西側が全面ガラス張りになっている等、夕日観賞に適した設計がなさ

れている。設計は菊竹清訓。他の菊竹作品と比べると軽快である。開放感溢れるロビーは入場無料で、季節ごとに表情を変える夕日を楽しむことができる。キッズライブラリーでの絵本の閲覧サービスや学術業務は県直営、広報や管理運営を民間に業務分割する島根方式、積極的にリニューアルを行うなど行政側の様々な工夫が建物をより魅力的にしている。

一級建築士事務所（株）石川建築研究所 石川啓司

■初めて島根県の松江・出雲・米子へ足を踏み入れました。出雲大社や松江城をはじめとした日本の歴史が色濃く残った土地であり、また近くには湖や山そして海などがある恵まれた自然環境がとても印象的でした。それらの要素と見事に調和した島根県立美術館、松江歴史館、足立美術館の庭園等を観て、そこに根づいたその土地への想いを感じる事が出来ました。また、最後に寄った奈義町現代美術館の展示室「太陽」では、足元の傾斜や狭くて暗い螺旋階段、その後の上下左右に広がる石亭やベンチがある非現実的な空間を体感する事により、安定とは違う空間意識や感覚が覚醒され、建築物による意識感覚への影響を強く感じる事が出来て驚きました。今回も、内容の濃い有意義な旅行に参加させていただき、有難うございました。

（株）小倉工務店 小倉健太郎

■有名建築物巡りは、勿論良かったのですが、山陰地方の寒さに適した日本三大瓦の一つである赤褐色の石州瓦を葺いた町並みや集落の道中の景観が印象的でした。また、松江城が近年、国宝になった要因を学べた事。更に、念願だった出雲大社参拝も叶ったので大満足です。足立美術館では作品が多く、時間内に鑑賞しきれなかったので再度ゆくりと尋ねたいと思います。バスガイドさんの流暢な語り口と気配りも素晴らしいお陰様で楽しい視察研修ができました。次回も事前に足腰と、お酒を鍛えてから参加したいと思います。

鎌田建築アトリエ 鎌田富士夫



確かな技術と安心・安全を信頼の礎に



株式会社山忠

代表取締役社長 山崎 晋一郎

<http://www.yamachu-corp.co.jp>

TEL.029-221-9151 FAX.029-226-6442

本社／〒310-0021 茨城県水戸市南町2丁目4番54号

本社営業部／〒312-0035 茨城県ひたちなか市枝川222番地

営業所／日立営業所・鹿島営業所・つくば営業所・東京営業所

株式会社

相澤建築設計事務所

代表取締役 相澤 晴夫

(一社)茨城県建築士事務所協会会員

(一社)茨城県建築士会会員

〒300-1256 つくば市森の里1169-2

TEL (029) 876-0617

FAX (029) 876-0679

■茨城空港から「水の都 松江・神話の地・出雲」へ島根県立美術館にて「やっぱり屋根ですねえー」2日目、出雲大社にて、大社の歴史を感じながら遠い縁(えに)に想いを巡らす。2礼4拍1礼「良い事ありますように」・「研修委員会の皆様に楽しい視察会をありがとうございます」

(株)玄設計 小沼隆志

■今回初めて参加させていただきました。歴史文化に精通した松江市だからこその織りなすことのできる豊かさや、まち全体をあげて伝統を継承しているという姿勢には感服させられました。建築を始めたばかりの私にとって今後に活きるまちづくりのかたちを感じることができました。ありがとうございます。

(株)桜設計事務所 荒井瑞樹

■六道湖と松江城そして堀、橋。「松江」という町そのものももっている魅力に心奪われました。ちよと住んでみたい、そんな気持ちになりました。また、建築はどれもそれぞれの特徴を持つ、ロケーションと密接に関わっているということを見学を通して改めて実感しました。融和、協調、対比、軸線、借景、時間の移ろい、などいろいろな言葉が頭を駆け巡ります。そして、神話や歴史への思いを馳せながら現在を考える。そんな時間旅行でもあったのかもしれません。また参加の皆さんとの親睦を深められた旅でもありました。企画・運営、関係各位の方々にも感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。

(株)桜設計事務所 山田一博

■今回、国内の建築視察研修は、初めて参加させて頂きました。久々に3度目の島根方面の旅で、懐かしい風景も見られ、時がゆっくり動いているのが良い感じでした。そして、六道湖周辺の美術館・博物館・ホール等の建築家設計の建築を中心に建築視察をさせて頂きました。その中で、初日に、島根県立美術館を訪れ、建築家菊竹清訓の遺作で、ただひたすらに美しい屋根の美術館を探訪し、一部リニョアルをしているようですが、

建設後、約20年経過していると思えない管理の良さで、包み込まれるような空間が良かったです。二日目に、出雲の島根古代歴史博物館は、建築家横文彦設計で、古代への興味・郷愁を分かち合うことのできる環境づくりとした、古代の人たちが見たであろう、感じたであろう、を再現可能を感じとれる施設でした。続いて、大社文化プレイスうらら館は、建築家伊藤豊雄設計で、ふたつの機能を一体化した建築で、緩やかにカーブを描く大きな屋根に覆われて美しい景観を作り出しています。三日目に、奈義町現代美術館は、建築家磯崎新氏と作家の共同制作による空間的作品で、煉瓦色の「大地」「太陽」と「月」はアルミ・インドレルでそれぞれ金と銀色に鈍く光る建物、那岐連山とつながった、心の安らぐ美術館でした。今回の視察研修では、初日に「ビーボビーボ」と六甲北有料道路で事故があり予定変更がありましたが、研修委員会の皆様の対応が良くその後は予定通り進行し楽しく視察が出来ました誠にありがとうございます。

淳設計工房 和田淳一

■視察研修には今回初めて参加をしました。企画をされた研修委員会の皆さんへ大変苦勞様でした。出雲松江地方の土地柄において、著名建築家の思いを見現化された建物を見て、また空間を感じる事が出来た貴重な機会でした。また視察もさることながら3日間一緒だった皆さんとは、これまで以上に親睦が図られたということについても、非常に有意義な時間を過ごせたと思います。都合のつく限りまた参加をしたいと思いますので、これからも実のある研修場所の選択をお願い致します。

(株)戸頃建築設計事務所 小川憲一

■今回は私の人生でも初めての山陰地方ということもあり、非常に楽しみにしておりました。初日はまさかの事故渋滞で高速道路を歩く、そして高速道路を逆走する等といった、今後体験することが出来なような経験が出来ました。研修地も色々

回りましたが、最も印象に残ったのは足立美術館です。非常にきれいな庭園と、庭園の奥に見える山々が一体になっており、美しさが際立っておりました。非常に有意義な研修旅行となりました。

(株)中山設計事務所 中山康弘

■研修施設を島根周辺に設定したので、3日間けつこうゆとりある充実した研修であったと思います。松江市全体の雰囲気、個性がなんとなく感じられたような気がします。ありがとうございます。

ハナワ建築設計事務所(株) 塙万治

■道中の六甲北有料道路にて、タンクローリー横転事故の影響により、初日予定されていた松江市総合体育館の見学ができなく大変残念でした。薄暗くなるくらいに時間に到着した島根県立美術館は夕闇に映え、とても美しいものでした。来年には、開館20周年を迎えるとの事でしたが、信じてたい程、よく手入れされています。運営方式も、学芸員は県他のサービスが民間委託とされており、その方式により20年という月日を感じさせないものになっていると感じました。江戸東京博物館と同じ設計者の作品と思えない感じです。

(株)増山栄建築設計事務所 市村隆

■本研修には初めて参加させて頂きましたが、個人で旅行に行く時とは違い、専門的な方の解説を聞くことが出来たり、一緒に参加されている方のご意見を聞くことが出来たりと、とても勉強になりました。特に印象深かったのは、初日に見学に行った菊竹先生の島根県立美術館です。行く途中でアシデントがあり、予定よりも遅れて到着となりましたが、水面を感じさせる大屋根や六道湖と調和した内庭等スケールの大きさを感じました。

(株)増山栄建築設計事務所 増山保之

■今回の旅行で印象に残った一つは、松江・出雲市の軒が低く抑えられた住宅や町屋が多く、又、看板の大きさ、色彩も控えめで、両市とも伝統の美しさを感じさせる街でした。城下町の名残

りの塀もそのまま残されていて、景観・観光と生活が相まっている街の姿を好ましく感じました。又、参加者皆様との交流も印象に残りました。バスの中で、宴会や食事の中で交わした会話や雑談の中に日頃見られない面を見せたり、見せていただいたり楽しかったです。研修委員会の皆様、参加者の皆様、苦勞様でした。また来年参加します。

(有)宮本建築アトリエ 宮本久

■秋の山陰地方を二泊三日で回ってきました。視察した建物は、現代建築と歴史的建築を合わせた9か所ほど回りました。特に印象的だったのは、松江城の後に小泉八雲記念館まで歩いた、お城を囲むお堀沿いの古い街並みでした。低い軒高の武家屋敷等歴史ある建物がきちんと保存活用されており、その情緒豊かな情景に感激したと共に、感慨深いものを感じました。原稿を書きながらの感想ですが、良い景観(建築)は、気候・風土に根差した本物で、やや控えめな建築であること、長い年月において地域の人々に愛されながら育てられる事なのではないかと、今回の視察を振り返りながら思っています。とても有意義な研修旅行でした。

(有)吉田建築計画事務所 吉田良一

■茨城空港から神戸、そこから山陰へ向かうという鳥取、島根の旅は、高速道でタンクローリーの横転に遭遇し道路工事でもないのに道に降り立つというハプニングから始まりました。3日間、出雲大社の神聖な建築から、磯崎新の奈義町現代美術館まで、又、横山大観の収蔵品の多さと庭園世界一で有名な足立美術館の数多くの美術品にも出会うことができ、幅広く且つ奥深い研修でした。夜の交流も笑顔がいっぱいで、小倉さんのギターも聴けたし、茨城の食の美味しさを痛感した割には、三食さつちり食べたので、胴体がビヤ樽のようになってしまったことを除けば、お天気とメンバーに恵まれた楽しい3日間でした。本澤リーダーお疲れ様でした。皆様ありがとうございます。

(株)若柳建築事務所 若柳綾子



2016~2018



since 1967



SHIBA  
ARCHITECT  
OFFICE

株式会社 柴建築設計事務所

水戸市泉町 3-1-28 第二中央ビル 7 階  
TEL 029 (227) 0222  
FAX 029 (231) 0960

<http://www.shiba-arc.co.jp/>

ARCHITECT OFFICE

建築◆企画・設計・監理

株式会社 中建築設計事務所

水戸市笠原町 1 1 8 8 - 6  
TEL 029-243-9333 FAX 029-243-9332  
E-mail : nakaarc@maple.ocn.ne.jp

 **Aoyama**Architect  
株式会社青山建築設計事務所

〒305-0033

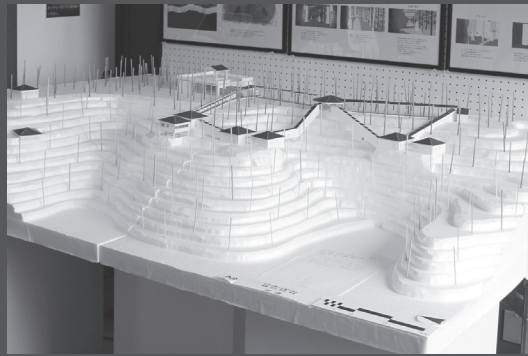
茨城県つくば市東新井14-3 シバハシビル4階

TEL 029-851-7430(代) FAX 029-851-7600

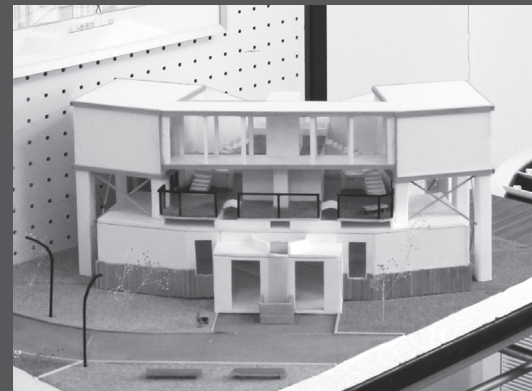
E-mail : [info@aoyama-arc.jp](mailto:info@aoyama-arc.jp)

URL : [www.aoyama-arc.jp](http://www.aoyama-arc.jp)





# 第5回 茨城学生建築展



IBARAKI ARCHITECTURE  
STUDENT EXHIBITION VOL.05

展示期間

2019  
2.21<sup>thu</sup>-24<sup>sun</sup>

展示会場 笠間の家 笠間市下市毛79-9

表彰式  
2019 2.24<sup>sun</sup> 13:30~  
笠間工芸の丘 クラフトホール 笠間市笠間2388-1

## 趣 旨

本協会は、建築文化の向上と発展に努め、公共の福祉の増進ひいては地域文化の活性化に寄与することを目指して活動しています。「茨城学生建築展」は、こうした趣旨の一環として発足しました。この賞は、県内に建築系学科を有する学校各位と連携のもと、優秀な作品を表彰し、学生諸君にエールを贈ると共に、交流を深め、建築設計業界が社会に貢献するための下地作りを目的として実施するものです。

## 募集対象

県内の建築関連科目を有する学校に在学する学生の個人及び団体（グループを含む）の作品。卒業作品にはこだわらず、各学年に広く求めます。（大学生、専門学校生、高校生を同じカテゴリとして扱います。）また、他の表彰との重複は問いません。応募部門は右記の通りです。

1. 建築物
2. インテリアデザイン
3. 都市計画（地区計画等を含む）
4. 環境デザイン
5. その他（上記に分類できないもの）

## 募集方法

応募方法は学校単位とし、応募期間内に必要事項を記入した応募用紙を当協会まで送付してください。（FAX可）応募作品は基本的にパネル（図面及び写真）または模型とし、その他の場合は事務局にご相談願います。また、審査会場へ各自搬入していただきます。

## 審 査

茨城学生建築展審査委員が応募作品の審査を行います。学生らしい発想力とデザイン性を基準とし、新しい考え方を提案する作品など総合評価します。

## 主催 一般社団法人 茨城県建築士事務所協会

〒310-0852 水戸市笠原町978-30 建築会館2階 TEL 029-305-7771 FAX 029-305-7791 <http://www.i-jk.org>  
協 賛／（一財）茨城県建築センター （一社）茨城県建築士会 （公社）日本建築家協会関東甲信越支部茨城地域会 後援／笠間市 （株）茨城新聞社  
協賛企業／（株）山忠 （株）フジクリーン茨城 総合資格学院つくば校 日建学院水戸校つくば校 常陸大理石（株） YKKAP（株） （株）LIXIL  
（株）千代田興業 和知商事（株） （株）奈良屋 センター電機（株） （株）角藤 北海道バークет工業（株） （株）エコウッド



株式 河野正博建築設計事務所  
会社

代表取締役 河 野 正 博

〒305-0817

つくば市研究学園5丁目6-6 D12-510

TEL : 029-861-8847 FAX : 029-861-8848

E-mail : [info@kono-arc.com](mailto:info@kono-arc.com) URL : <http://kono-arc.com/>



人とふれあう豊かな街づくり



DAIICHI  
SEKKEI

株式 第一設計  
会社

第一設計

代表取締役 大内 賢一

【本 社】〒312-0024 ひたちなか市勝倉2671-1

【大平事務所】〒312-0023 ひたちなか市大平3-5-3

TEL : 029-274-3056 FAX : 029-274-4604

E-MAIL : [daiichi@intio.or.jp](mailto:daiichi@intio.or.jp)

URL : <http://www.daiichi-design.jp>



# 第32回 茨城建築文化賞募集

## 趣 旨

茨城建築文化賞は、茨城県内において、地域の周辺環境に調和し、かつ、景観上及び機能的に優れている建築物等を表彰し、もって文化の香り高い魅力のあるまちづくりに対する意識の高揚を図ることを目的として実施するものです。

## 募集対象

茨城県内に建築(増築、改築も含みます。)された建築物及び一定の計画のもとに整備、再開発された商店街など一連のまちなみを形成する建築物群(以下「建築物群」といいます。)で、次の要件に該当するものとします。ただし、国指定の重要文化財及びこれに類するものは除きます。

(要件)

- (1)平成28年4月1日から平成30年3月31日までの間に竣工したもの(竣工の日は検査済証の交付日とする)検査済証の写しを添付下さい(再応募可ただし、受賞作品は除く。)
- (2)茨城県内に建つ対象物を設計した設計事務所(設計共同企業体の場合は全ての事業者名を記入する事)

(注)建築物には、住宅等(併用住宅)、店舗、ホテル、旅館又は古い民家、商家等の修復されたもの、或いは工場建築・住宅団地なども含まれます。また、省エネルギー及び環境へ配慮した建築物も含まれます。

## 応募方法

- (1)応募の方法は、応募用紙に必要事項を記入し、建築物と周囲の景観がわかるカラー写真サイズ130×180程度(キャビネ版6枚(内観3枚、外観3枚を原則とする。リフォームについては、改修前と改修後の写真とする。貼付不可)撮影位置記入)、図面は白黒とし、配置図(周囲の状況を把握できる資料添付可)・平面図・立面図・断面図(A3サイズ各1枚、図面内に説明書きや写真及び事務所名等記載のあるものは不可)に登録料を添えてお持ちください。応募作品は返却致しません。登録料は現金書留でも構いません。

(宛先)〒310-0852 水戸市笠原町978-30 建築会館2階(一社)茨城県建築士事務所協会

- (2)応募用紙は、(一社)茨城県建築士事務所協会HPよりダウンロードできます。

## 審 査

- (1)応募のあった建築物は、茨城建築文化賞審査委員会が応募作品の審査を行い、総合評価します。
- (2)審査の過程で、設計図書等の資料の提出を求めることがあります。
- (3)優秀作品については必要に応じ現地審査を行うことがありますが、その際の立会いは必要ありません。

## 賞の決定等

審査の結果、特に優れている建築物及び建築物群の中から、次の各賞を決定し、平成31年4月末日までに、該当者に通知します。

茨城建築文化賞 最優秀(知事賞)1点、優秀(県議会議長賞、県土木部長賞、茨城新聞社賞)各1点、住宅部門最優秀1点、住宅部門優秀2点以内、入選10点以内、リフォーム賞 適宜、他特別の理由がある場合については特別賞を設けています。

## 表 彰

各賞該当の建築物及び建築物群については、賞状及び副賞をもって設計事務所を表彰します。また会報誌及び新聞、ホームページ等に提出された書類及び写真等を公表します。その際クレジット表記は行いません。また、版權等のための料金は支払いません。

尚応募作品は当協会各種事業において、作品展示等に使用させていただくことがあります。

## 応募期間

平成31年1月4日(金)から平成31年2月28日(木)まで

## 登 録 料

1件につき 会員 3,000円 会員以外 6,000円

## 審査委員

長嶋一道氏(国立大学法人筑波技術大学産業技術学部総合デザイン学科教授)、熊澤貴之氏(国立大学法人茨城大学工学部都市システム工学科准教授)、加藤研氏(国立大学法人筑波大学芸術系助教)、海老沢和雄氏(茨城県土木部技監兼都市局建築指導課長)、江原秀明氏((一財)茨城県建築センター理事長)、柴和伸氏((一社)茨城県建築士会会長)

## 主 催 (一社)茨城県建築士事務所協会

## 協 賛 (一財)茨城県建築センター・(一社)茨城県建築士会・(一社)茨城県設備設計事務所協会・(一社)茨城県建設業協会

## 後 援 茨城県・(株)茨城新聞社・(株)日本工業経済新聞社・(株)日本建設新聞社

問い合わせ先



一般社団法人 茨城県建築士事務所協会

〒310-0852 水戸市笠原町978-30 建築会館2階

TEL 029 (305) 7771 FAX 029 (305) 7791 E-mail [ikyokai@i-jk.org](mailto:ikyokai@i-jk.org)

HAN 設計・監理

## (有) 汎 連 合 設 計

〒310-0852 茨城県水戸市笠原町1214-3 齊藤ビル2F  
TEL 029-244-5472 FAX 029-244-5482  
E-mail [han-sekkei@msj.biglobe.ne.jp](mailto:han-sekkei@msj.biglobe.ne.jp)



水戸市立内原幼稚園

## 建設コンサルタント

建設コンサルタント 大臣登録 建29第4858号 測量業 大臣登録 第(7)-17467号 一級建築士事務所 知事登録 第A1302号

## 株式会社 玄 設 計

代表取締役 川津 保

茨城県水戸市酒門町4287番3 TEL 029-240-1480 FAX 029-246-2627



学びの森 水木わかば園



株式  
会社

## 根本建築設計事務所

代表取締役 根本 洋一郎

〒311-4141 水戸市赤塚二丁目 2005-80  
TEL 029-252-6777  
FAX 029-252-6684  
<http://www.nemotosekkei.com>





エントランス ホール

木城館（佐川文庫別館）



株式会社 パル総合設計

〒 310-0852 水戸市笠原町1050-1アクアビル2F TEL. 029-243-0540(代) FAX. 029-243-0548  
E-mail: arc@pal-sogo.co.jp

## 新会員紹介

New member introduction

2019 January

正会員



(株)タケイ・アーツ  
武居 宏  
〒315-0014  
石岡市国府2-3-29  
tel.0299-23-1738

賛助会員



斉藤菊正塗工 株式会社  
齊藤 佳昭  
〒310-0852  
水戸市笠原町1226-1  
tel.029-241-5256

正会員



株式会社 明光  
石崎 新一  
〒311-3116  
茨城町長岡3648-1  
tel.029-291-0808

随時、新会員を募集しております。  
皆さまよろしくお願ひいたします。

## 編集後記

Editors Voice

2019 January

新

年明けましておめでとうございます。昨年新たに広報委員の一員となり、編集の苦勞が理解できるようになりました。今回は協会会員のために何が出来るかを考えながら一歩一歩、前進して行きたいと思っております。

本年もよろしくお願いいたします。(大内)

今

回の会報69号でも会員の皆様、賛助会員の皆様、各委員会の皆様には、御協力を頂き、有難うございました。お蔭様で、年3回の会報発行が出来ました事、本当に皆様の「尽力」によるものと思っております。

年度当初、不安な気持ちで委員長職を引き受け、スタートしましたが、私自身も初参加の研修旅行、会員親睦ゴルフ大会の取材、そして年末懇親会参加、等と大変楽しい

### 編集メンバー

青山 立美	大内 賢一
中崎 妙子	山田 一博
塙 秀之	富田 清一
藤井 耕市	小谷野 栄次
鈴木 啓之	江面 松男
茂垣 直樹	郡司 政美
石島 尚	福田 明良
草薙 秀明	

### 会報「茨城」

2019年1月 第69号  
発行 ● 平成31年1月1日  
(年3回1月・7月・10月発行)  
発行部数 ● 800部  
発行者 ● 一般社団法人  
茨城県建築士事務所協会  
会長 舟橋 健  
〒310-0852  
茨城県水戸市笠原町978-30  
建築会館2階  
TEL.029-305-7771  
FAX.029-305-7791  
ホームページ  
http://www.i-jk.org  
Eメール  
ikyokai@i-jk.org  
制作 ● (株)メディアクロス水戸  
http://www.i-jk.org

11

月初旬、協会主催の研修旅行「松江・出雲」に行つて参りました。

まさに、行きたくてもなかなか行けない場所だったので、良い機会に恵まれました。その地域、環境、建築、生活を見て逆に自分の住んでいる水戸、茨城のことを思い、考えることもできました。また、フライング「し」に、何か素晴らしい一枚になる写真が撮れないか、そんなことにも思い悩ませて頂いた研修旅行となりました。

そして、同行の方々との親睦を深められ、楽しいひと時を過ごし、そのみなぎるエネルギーを注入させて頂いたあつという間の3日間でした。

あらためて、この場を借りまして企画して頂いた研修委員会のみならず、めぐり合わせたみなさまにも感謝、お礼を申し上げます。今号はそのレポートが載っております。ぜひ目を通して頂ければと思います。(山田)

事を経験させて頂き、また多くの会員さんとお知り合いになる事が出来ました。来年度に向けても、可能な限り事業参加、あるいは取材等、努力して行きたいと思っております。各委員会の皆様には、事業報告等々で、またお世話をお掛け致しますが、どうぞ御協力の程、よろしくお願い申し上げます。

新しい年を迎え、皆様のご健康、ご多幸をお祈り申し上げます。(中崎)



みどり流星こども園



株式会社 増山栄建築設計事務所

代表取締役 増山 栄

本社 〒305-0047 茨城県つくば市千現1-12-2-305号室  
本社設計室 TEL (本社) 029-869-6123 (設計室) 029-893-6012 FAX 029-852-3810  
土浦支店 〒300-0871 茨城県土浦市荒川沖東3-1-34  
TEL 029-843-6011 FAX 029-843-3122  
URL: http://www.masuyama-arc.com



会報 茨城  
iBARAKI

一般社団法人 茨城県建築士事務所協会 / 2019年1月 第69号



一般社団法人 茨城県建築士事務所協会  
<http://www.i-jk.org>